

X 施設・設備等

1 校地、校舎、講義室・演習室等の面積

2012(平成24)年5月1日現在

(表36)

校 地 ・ 校 舎				講義室・演習室等		
校地面積 (m ²)		設置基準上必要校地面積 (m ²)	校舎面積 (m ²)	設置基準上必要校舎面積 (m ²)	講義室・演習室・学生自習室総数	講義室・演習室・学生自習室総面積 (m ²)
西新校地	103,923.7m ²	65,000m ²	72,878.6m ²	31,466m ²	173	14,133m ²
田尻校地	121,155.4m ²					

[注] 1 校舎面積に算入できる施設としては、講義室、演習室、学生自習室、実験・実習室、研究室、図書館（書庫、閲覧室、事務室）、管理関係施設（学長室、応接室、事務室（含記録庫）、会議室、受付、守衛室、宿直室、倉庫）、学生集会所、食堂、廊下、便所などが挙げられます。

2 講堂を講義室に準じて使用している場合は「講義室・演習室・学生自習室」に含めても結構です。

3 複数のキャンパスを設置している場合は、キャンパスごとに作表してください。

[備考] 1 設置基準上必要な校舎面積の算出方法

学部名	収容定員(人)	設置基準上必要面積(m ²)	備 考
神学部	40	1,719	大学設置基準第37条の2に基づき、別表第三(ハ)より算出
文学部	1,000	4,462	大学設置基準第37条の2に基づき、別表第三(ハ)より算出
商学部	1,200	5,123	大学設置基準第37条の2に基づき、別表第三(ハ)より算出
経済学部	1,200	5,123	大学設置基準第37条の2に基づき、別表第三(ハ)より算出
法学部	1,400	6,941	大学設置基準第37条の2に基づき、別表第三(イ)より算出
人間科学部	1,060	5,123	大学設置基準第37条の2に基づき、別表第三(ハ)より算出
国際文化学部	600	2,975	大学設置基準第37条の2に基づき、別表第三(ハ)より算出
合 計	6,500	31,466	

※法学部 = (収容定員1,400 - 800) × 1,322 ÷ 400 + 4,958 = 6,941

2 主要施設の概況

2012(平成24)年5月1日現在
(表36-2)

施設名	用途	建築年	延床面積(m ²)	備考
1号館	講義室、演習室、事務室	東棟 1995(平成7)年 西棟 2001(平成13)年	5,187.9m ² 6,581.1m ²	
2号館	講義室、演習室、会議室、事務室	1987(昭和62)年	10,199.2m ²	
3号館	講義室、語学教室、演習室、事務室、学生サークル室	1964(昭和39)年	4,584.0m ²	建物老朽化のため、語学関連施設は2012(平成24)年1月に竣工する言語教育センター棟に移転し、その後同年8月に取り壊し予定。
4号館	講義室、教職員談話室	1967(昭和42)年	4,259.4m ²	耐力不足のため、2002(平成14)年に耐震改修工事を行った。
5号館	実験・実習室、事務室、研究室	1971(昭和46)年	4,023.7m ²	耐力不足のため、2009(平成21)年度に耐震改修工事を行い、6号館及び自然科学館の機能を移転した。
体育館	正課及び課外活動用の体育施設	1969(昭和44)年	7,676.2m ²	耐力不足のため、2007(平成19)年度に耐震改修工事を行った。
図書館	講義室、演習室、事務室(宗教部、情報処理)	旧館 1968(昭和43)年 新館 1992(平成4)年	5,657.8m ² 4,985.6m ²	

施設名	用途	建築年	延床面積(m ²)	備考
大学チャペル	講堂	2008(平成20)年	1,639.4m ²	老朽化した旧講堂を改築した。
学術研究所	教員研究室、共同研究室、 学科活動室、事務室	1970(昭和45)年	8,022.9m ²	
大学院棟	講義室、自習室、図書室、 ホール	2005(平成17)年	5,221.0m ²	
法科大学院棟	講義室、教員研究室、図書 室、事務室	2004(平成16)年	4,385.3m ²	
言語教育センター棟	教室(CALL・ALL等)、事 務室、博物館収蔵庫	2012(平成24)年	3,384.4m ²	旧3号館の語学関係教室及び事務室 等の機能を移転し、新築した。

[注]1 「財産目録」記載のうち、教育研究活動に使用されている主要な建物について記載してください。

2 上記、施設の大規模な改築や改修計画がある場合は、備考欄にその旨記入してください。

3 学部・研究科ごとの講義室、演習室等の面積・規模

2012(平成24)年5月1日現在

(表37)

学部・研究科等	講義室・演習室 学生自習室等	室数	総面積(m ²) (A)	専用・共用 の別	収容人員 (総数)	利用学生 総数 (B)	利用学生1人当 たり面積(m ²) (A/B)	備考
全学部	講義室	70	9,595.9	専用	9,612	7,947	1.21	
	演習室	38	2,012.3	専用	978	7,947	0.25	
	学生自習室	—	—	—	—	—		
全研究科	講義室	26	812.3	専用	250	152	5.34	
	演習室	—	—	—	—	—		
	学生自習室	30	878.3	専用	180	152	5.78	
法科大学院	講義室	9	834.3	専用	418	63	13.24	
	演習室	—	—	—	—	—		
	学生自習室	—	—	—	—	—		
	体育館	1	7,676.2	共用				
	講堂	1	828.9	共用	904			

[注] 1 学部、大学院研究科ごとに記載してください。

- 2 当該施設を複数学部、研究科、短期大学等が共用している場合には、当該学部・大学院研究科専用の施設とは別個に記載し、「専用・共用の別」欄にその旨を明記するとともに、「利用学生総数」欄にも共用する学部、研究科、短期大学等の学生を含めた数値を記入してください。
- 3 キャンパスごとに施設を共用している場合は、「学部・研究科等」欄にキャンパス名を記入してください。
- 4 全学で全ての施設を共用している場合は、「学部・研究科等」欄に「全学共通」と記入してください。
- 5 教養教育のための専用施設がある場合は、学部に準じて記載してください。
- 6 「利用学生1人当たり面積」は、小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位まで記入してください。
- 7 他学部、研究科等と共用で使用している講義室・演習室等の「利用学生1人当たりの面積」の算出に当たっては、当該施設を利用しているすべての学部、研究科の学生数（短期大学と共用している場合は、短期大学の学生数を含む）で総面積を除して算出してください。

4 学部・研究科ごとの学生用実験・実習室の面積・規模

2012(平成24)年5月1日現在

(表38)

用途別室名	室数	総面積 (㎡)	収容人員 (総数)	収容人員1人当 りの面積(㎡)	使用学部・研究科等	備考
パソコン教室	6	748	320	2.3	全学部	
パソコン教室	1	54	20	2.7	全研究科	
マルチメディア教室	77	9,564	8,670	1.1	全学部	
模擬法廷教室	1	148	54	2.7	全学部	
博物館実習室	1	154	72	2.1	全学部	
絵画工芸室	2	290	89	3.3	全学部	
音楽リズム室	1	203	100	2.0	全学部	
理科教室	1	85	48	1.8	全学部	
遊律教室	1	203	100	2.0	全学部	
栄養学実習室	1	136	50	2.7	人間科学部	
実習室	3	248	90	2.8	人間科学部	
小児保健学実習室	1	85	40	2.1	人間科学部	
大音楽室	1	198	100	2.0	人間科学部	
小音楽室	1	19	10	1.9	人間科学部	
ピアノ練習室	5	101	100	1.0	人間科学部	
ピアノ個人練習室	33	112	33	3.4	人間科学部	
理科実験室	1	177	72	2.5	人間科学部	

用途別室名	室数	総面積 (㎡)	収容人員 (総数)	収容人員1人当たりの面積(㎡)	使用学部・研究科等	備考
心理学実験室	1	82	}	実験室等であるため、収容人数は特になし	人間科学部	
物理学実験室	1	49			人間科学部	
化学実験室	1	49			人間科学部	
地学実験室	1	44			人間科学部	
自然地理学実験室	1	49			人間科学部	
生物学実験室	2	97			人間科学部	
体育館別棟	1	206			人間科学部	
計	145	13,101	9,968	1.3		

[注] 1 原則として学部・研究科ごとにまとめてください。

2 「用途別室名」欄には、その施設の用途が具体的にわかるような名称を記入してください。

3 当該施設を複数の学部・研究科もしくは併設の短期大学と共用している場合は、その学部名等のすべてを「使用学部・研究科等」欄に記載し、本表において同一施設を重複して記載しないでください。

4 語学学習施設・情報処理学習施設、ビデオ・オーディオルームその他の視聴覚教室施設等も、ここに記入してください。

5 教養教育のための施設については「使用学部・研究科等」欄にその旨記入してください。

6 実習室としての機能を備えているものの、講義室・演習室等としての利用が中心である施設については、前表「3 学部・大学院研究科等ごとの講義室、演習室等の面積・規模」(表37)の講義室・演習室に含めても結構です。その場合は、当該施設の本表での記載に当たっては、「備考」欄に必ず「【再掲】」と記入してください。

7 実験・実習室の主な設備・機器の設置とその更新状況については、点検・評価報告書に記載してください。

8 マルチメディア室は、講義室・演習室と兼用。

4 学部・研究科ごとの規模別講義室・演習室使用状況一覧表

2012(平成24)年5月1日現在
(表40)

学 部 名	収 容 人 員	使用教室数	開設総 授業数 (A)	使用度数 (B)	使用率 B/A (%)	備 考
神学部	1 ~ 30	25	269	46	17.1%	
	31 ~ 50	7		15	5.6%	
	51 ~ 100	31		90	33.5%	
	101 ~ 200	11		43	16.0%	
	201 ~ 300	10		41	15.2%	
	301以上	7		34	12.6%	
計		91		269	100.0%	

学 部 名	収 容 人 員	使用教室数	開設総 授業数 (A)	使用度数 (B)	使用率 B/A (%)	備 考
文学部	1 ~ 30	25	659	107	16.2%	
	31 ~ 50	11		70	10.6%	
	51 ~ 100	35		276	41.9%	
	101 ~ 200	11		82	12.4%	
	201 ~ 300	11		75	11.4%	
	301以上	7		49	7.4%	
計		100		659	100.0%	

学 部 名	収 容 人 員	使用教室数	開設総 授業数 (A)	使用度数 (B)	使用率 B/A (%)	備 考
商学部	1 ~ 30	30	515	93	18.1%	
	31 ~ 50	11		45	8.7%	
	51 ~ 100	34		141	27.4%	
	101 ~ 200	13		68	13.2%	
	201 ~ 300	12		88	17.1%	
	301以上	7		80	15.5%	
計		107			515	100.0%

学 部 名	収 容 人 員	使用教室数	開設総 授業数 (A)	使用度数 (B)	使用率 B/A (%)	備 考
経済学部	1 ~ 30	31	463	76	16.4%	
	31 ~ 50	10		25	5.4%	
	51 ~ 100	36		152	32.8%	
	101 ~ 200	13		59	12.7%	
	201 ~ 300	12		81	17.5%	
	301以上	7		70	15.1%	
計		109			463	100.0%

学 部 名	収 容 人 員	使用教室数	開設総 授業数 (A)	使用度数 (B)	使用率 B/A (%)	備 考
法学部	1 ~ 30	29	442	57	12.9%	
	31 ~ 50	10		21	4.8%	
	51 ~ 100	36		138	31.2%	
	101 ~ 200	13		63	14.3%	
	201 ~ 300	12		93	21.0%	
	301以上	7		70	15.8%	
計		107		442	100.0%	

学 部 名	収 容 人 員	使用教室数	開設総 授業数 (A)	使用度数 (B)	使用率 B/A (%)	備 考
人間科学部	1 ~ 30	37	478	87	18.2%	
	31 ~ 50	11		31	6.5%	
	51 ~ 100	36		161	33.7%	
	101 ~ 200	11		67	14.0%	
	201 ~ 300	11		77	16.1%	
	301以上	7		55	11.5%	
計		113		478	100.0%	

学 部 名	収 容 人 員	使用教室数	開設総 授業数 (A)	使用度数 (B)	使用率 B/A (%)	備 考
国際文化学部	1 ～ 30	29	407	67	16.5%	
	31 ～ 50	7		19	4.7%	
	51 ～ 100	34		141	34.6%	
	101 ～ 200	11		54	13.3%	
	201 ～ 300	12		74	18.2%	
	301以上	7		52	12.8%	
計		100		407	100.0%	

[注] 1 原則として学部・研究科ごとに作成してください。

2 使用教室数は、当該学部の正規の授業として使用している教室数を指し、開設総授業数とは、1週間の総授業科目のうち、講義室・演習室を使用する全ての授業数を示します。なお、使用率は、 $(\text{使用度数} / \text{開設総授業数})$ により算出してください。例えば、「英語 I」を、それぞれ週1回3クラス設置している場合、開設総授業数は「3」になります。

3 セメスター制を採用している場合で、使用状況が大きく異なる場合については、セメスターごとに作表してください。